

2023 年度附属経済研究所活動報告

附属経済研究所長 山本陽子

1. 第 27 回公開シンポジウムの報告

「マクロ経済政策と地方財政」(名古屋市立大学大学院経済学研究科・附属経済研究所、日本地方財政学会、名古屋市立大学都市政策研究センターの共催)を令和 5 (2023)年 6 月 3 日(土)に開催した。実行委員長は湯之上英雄(本学大学院経済学研究科教授)が務めた。会場は名古屋市立大学滝子キャンパス 3 号館 201 教室であった。

シンポジウムでは小西砂千夫先生(総務省地方財政審議会会長)による基調講演が行われ、引き続き、パネルディスカッションでは、林宏昭先生(関西大学経済学部教授)、新田一郎先生(総務省自治財政局財政課長)、江口幸雄先生(愛知県副知事)、中里透先生(上智大学経済学部准教授)から、各先生の専門分野や行財政実務のご経験を通じて、報告をいただいた。その後、フロアからのご質問も交えながら、地方分権や経済政策などについて議論が行われた。最後に中山徳良(本学大学院経済学研究科長・教授)より、シンポジウムの締めくくりの挨拶があり閉会となった。

公開シンポジウムはコロナ禍の下、しばらくオンラインでの開催が続いていたが、ようやくオフラインでの開催が実現した。市民の皆様、地方公共団体関係者の皆様をはじめ約 180 名の方々にご参加いただき、活発な議論や質疑応答が行われるなど、盛況な会となった。シンポジウムの開催にあたりご尽力いただいた関係各位に深くお礼申し上げます。また、開催にあたり名古屋市、名古屋証券取引所、中部経済同友会、中部経済連合会、中部産業連盟、中部生産性本部、愛知中小企業家同友会、名古屋商工会議所からご後援を頂いた。この場を借りて感謝を申し上げたい。

2. 2023 年度年報の発行

附属経済研究所年報『国際地域経済研究』第 23 号 2024 年 2 月を発行した。